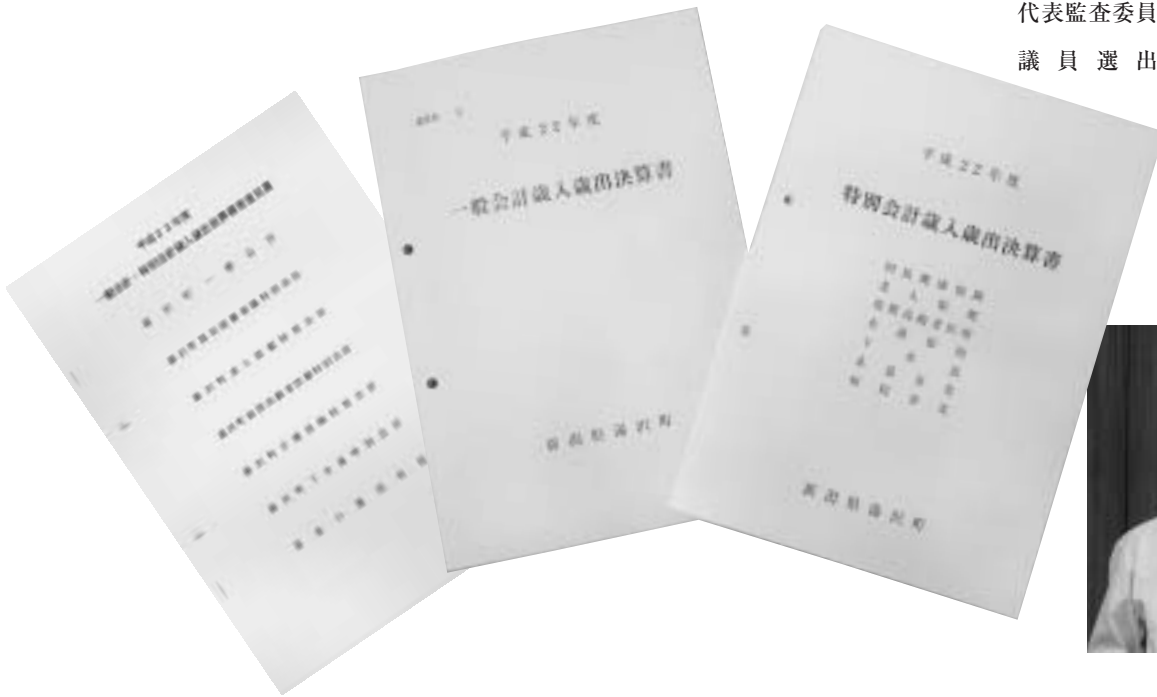


平成22年度

決算審査報告

監査委員より平成22年度の一般会計、特別会計、及び企業会計の決算審査結果と審査意見の報告を受けました。

代表監査委員 腰越 健一
議員選出 宮田真理子



決算審査の結果

【一般会計・特別会計】
(特別会計は国民健康保険・老人保健・後期高齢者医療・介護保険・下水道の5会計です。)

各会計の歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に基づいて作成されており、また数値も帳票と符合し概ね適正であると認めました。

また、土地・建物等財産の現在高及び基金の運用状況についても適正であると認めました。

【企業会計】
(水道事業・病院事業の2事業会計です。)

両事業の決算書及び関係書類ともに法令に基づいて作成され、経営成績及び財政状況を適正に示しており、概ね適正であると認めました。

審査意見

【一般会計・特別会計】
一般会計は実質収支4億1千7百万円の黒字決算でした。

なお、一般会計から特別会計、企業会計に10億2千万円の繰り出しがされています。

財政の健全性などを示す各指標はいずれも県平均を上回っており、数値上は健全財政が維持されていますが、高齢化の進行や景気低迷などにより町税収入が減少する一方、福祉関連経費の増加や公施設の老朽化などに伴う大幅な支出増加が予想されます。

事業内容の抜本的な見直しや、さらなる経常経費削減など歳出の削減に努め健全財政を堅持するようお願いしました。

また、事務事業の執行について次の通り意見を付しました。

● **事務事業の見直しについて**
長年漫然と継続しているような事業はないか、事業内容の見直しを行ってください。

● **契約事務について**
安易に随意契約することなく、財務規則(原則は競争入札)を遵守し経済性・透明性を確保してください。

● **備品管理について**

備品の現在高を把握し適正に管理してください。
など

特別会計は各会計とも一般会計からの多額の繰入により運営されていることから、引き続き経費節減に努めるようお願いしました。

特に下水道会計については、多額の借入金がある一方、水洗化率が伸び悩んでいることから、下水道未接続者への指導を徹底するようお願いしました。